

台風24号、計画運休と運転再開に関する職場から寄せられた

100件を超える問題点

東地申26号に集約し、申し入れました！

9月30日、台風24号が非常に強い勢力で関東に接近し、首都圏の在来線では「20時以降の運休等」の対策が取られました。

強風による飛来物や倒木が数多く発生し、列車の運行を支障したため、運転見合せや確認作業が発生しました。



**旅客対応、警戒・復旧作業、列車運行等
対応にあたられたみなさま**

大変おつかれさまでした！

台風24号の対応について、各職場から東京地本に問題点が続々と報告されており、その数は100件を超えています。

地本は問題点を集約し、10月25日、東地申26号〔災害から組合員とお客様の命を守り、迅速な対応能力と公共交通機関であるJR東日本としての「使命」「社会的責任」を果たすための対策・改善を求める申し入れ〕を東京支社に提出しました。

日本列島を相次いで襲った台風について、企業の危機管理や事業継続計画が問われています。オリンピック・パラリンピックも控え、公共交通機関の対策がますます重要となっています。

システムを超えた仲間の英知を結集し、全世界の人々が安心してご利用いただける安全な鉄道をつくりだそう！